日本聖書神学校 学報
Japan Biblical Theological Seminary
〒161-0033 東京都新宿区下落合3-14-16・☎03-3951-1101～2・Email: jbts@jbts.ac.jp

2022年4月1日
第169号
発行人　神 保　望
【後援会献金口座】
郵便振替：
00110-3-6435
加入者名：
学校法人聖経学園
日本聖書神学校

今号の内容

巻頭言	1
第74回卒業生	2
2022年度新入生	2
教職員の異動	2
新任教授就任挨拶	3
総務部長就任挨拶	3
学事報告・個人消息	4

【巻頭言】

「教会成長」についての宣教学的一考察

校長　神保 望

ドナルド・A・マクギャヴランは、20世紀中葉から見られる教会成長運動（the Church Growth movement）の創始者である。インドでの宣教師時代、改宗者が増えないことを憂慮したのが運動開始の動機である。そこでマクギャヴランは、宣教師辞任後、宣教師の働きを分析するチャーチ・プランター（church planter）となった。これは、教会を植物に置き換えることによって、成長に必要な耕作者の役割を果たすことである。宣教活動上の諸問題の解決を試みる宣教師に有益な情報を提供することを使命としているが、こうした後方支援的働きも教会成長運動を理解する上で参考になるであろう。

米国の改革派神学校（RTS）学長であったリューダー・ウィットロックは、マクギャヴランによる教会成長運動を聖霊に依拠した伝道活動と紹介したが、宣教師時代にマクギャヴランが実感したのは、社会活動、再生或いは育成を優先する余り、聖霊に依拠した伝道活動が軽視されているのではないかという問題意識であった。マクギャヴランにとっての教会成長とは、神の働きに依拠したものであるため、その運動内容は「人々を交わりの中に引き入れることに関わる全てのこと」とした。しかし他方では、「教会とは数えられる人々から成り立っているため、教会成長を判断するには計数的アプローチが必要不可欠」としたため、「教会成長は、受洗したキリスト者の総計である」とも定義している。つまり教会成長運動とは、聖霊に依拠した伝道活動としながらも、宣教活動を進める上では計数的アプローチとしての科学的方法を重要視するのである。この方法論を各個教会の宣教活動に採用するか否かによって世界の教会が二分されて来たとすれば、教会もまた平和ならざる状況にあったと言えるであろう。

教会成長運動に対して批判的立場にある人々は、「社会問題や正義の問題が軽視されている」との判断から、改宗者を生まず教会を増やさない宣教活動を擁護しなければならないと考えた。これは、マクギャヴランによる教会成長の判断基準とは異なる。とは言え、「未信者に対する霊的アウトリーチというキリスト教宣教の使命」を明らかにしたマクギャヴランの宣教活動内容を完全に否定する人は、おそらくはいないであろう。しかしこうした宣教活動の方法論に対しては、少なからず批判的な人々がいることも事実なのである。

伝道と社会的責任の問題は、「ローザンヌ誓約第5条」にもあるように「車の両輪」として認識される。教会成長運動に賛成する人々と、そうではない人々との間にあるのは、両輪の内のどちらか一方に過度に荷重がかかっており、その点において両者の間に違いが生じているのかも知れない。もしも両輪に対して均等に荷重されないと車は真っ直ぐに進むことが出来ず、轍にはまり転倒の危機に瀕する場合もあれば、障害物によって行手を阻まれて立ち往生することもある。伝道と社会的責任双方にバランス良く取り組むことが、宣教活動を安定的に継続して行く上で肝要であろう。

癒しと悔い改めへの御招き、そして聖霊による洗礼とは、罪の贖いを目的とした十字架による死と、永遠の命に生きる希望に満ちた神の国の賦与を宣言され復活されたイエス・キリストによってもたらされた福音の内実である。そして福音宣教の出発点こそ、イエス・キリストを頭とする教会である（エフェソ5：23）。そこで、聖書が伝える教会の「成長」とは、イエス・キリストを指し示す証人としての働き（福音宣教）を前提としており、何よりもイエス・キリストの御体なる教会なのだから、成長させて下さるのは神なのである（一コリント3：6）。

世界はコロナ禍による社会不安の蔓延化に加え、大国による他国への軍事侵攻の問題に直面している。このような危機的状況にある時にも、聖霊に依拠した宣教活動に取り組みつつ、一人一人の平和の実現のために労するキリスト者の祈りと具体的アウトリーチとが必要である。教会という車の両輪を繋ぐ軸はイエス・キリスト、そして車そのものを引いて下さるお方こそ神である。キリストを頭とし、神によって成長せられる教会を起点とした責任ある働きとしての福音宣教は、世の平和を実現する希望に満ちた働きなのである。

2021 年度　第 74 回卒業生

①卒業論文　②卒業時の所属教会　③実習教会　④赴任教会

鵜﨑 寿　うざき　ひさし

①生ける真の「慰め主」と共に立つ
ヨハン・クリストフ・ブルームハルトにおける慰め
②日本基督教団田浦教会
③日本基督教団原市教会
④日本基督教団群馬町教会 担任

細井宏一　ほそい　こういち

①ルターの教育観と近現代における事例研究
②日本基督教団茅ヶ崎堤伝道所
③日本基督教団茅ヶ崎堤伝道所
④日本基督教団茅ヶ崎堤伝道所 担任

内田隆彦　うちだ　たかひこ

①グノーシス主義と古代キリスト教
②日本基督教団江古田教会
③日本基督教団江古田教会
④日本基督教団富士宮教会 主任

堀 成美　ほり　なるみ

①感染症の流行時にキリスト教は何をし、何をしてこなかったか
②日本基督教団横須賀上町教会
③日本基督教団横須賀上町教会
④日本基督教団北千住教会 主任

佐藤貴仁　さとう　たかひと

①戦後台湾における山地伝道
－台湾原住民族に対してキリスト教が果たした役割－
②日本基督教団蒔田教会
③日本基督教団蒔田教会
④日本基督教団厚木上教会

杉野信一郎　すぎの　しんいちろう

①神の創造における人間の使命
－旧約聖書が今日の地球環境危機に語りかけるもの－
②日本基督教団大塚平安教会
③日本基督教団大塚平安教会
④日本基督教団横須賀上町教会 主任

2022 年度　新入生一覧

【正科生】

1. 内田弥生　カンバーランド長老キリスト教会あさひ教会
2. 海野 博　日本基督教団東戸塚教会
3. 大森意索　日本基督教団千代田教会　※３年編入
4. 鷺谷義和　新宿シャローム教会
5. 山本泰広　日本基督教団東長崎ウエスレー教会

【聴講生】

1. 大島泰江　日本基督教団千葉教会
2. 齋藤健一郎　日本基督教団愛泉教会
3. 中山慶介　日本キリスト教会柏木教会
4. ニルソン冬子　日本聖公会聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂
5. 野本 純　日本基督教団蒔田教会
6. 松脇達朗　日本キリスト教会蒲田御園教会
7. 水沼和子　日本基督教団安藤記念教会
8. 目黒昭彦　日本基督教団大泉教会
9. 山田篤子　日本基督教団田浦教会

教職員の異動

就　　任

《教　員》
小林祥人（教授）　2022 年 4 月 1 日
大石周平（講師）　2022 年 4 月 1 日

《職　員》
松脇達朗（総務部長）　2022 年 4 月 1 日

退　　任

《教　員》
稲垣千世（教授）　2022 年 3 月 31 日
大久保正禎（講師）　2022 年 3 月 31 日
小林祥人（講師）　2022 年 3 月 31 日
朴 憲郁（講師）　2022 年 3 月 31 日
山本隆久（講師）　2022 年 3 月 31 日

《職　員》
西谷 讓（総務部長）　2022 年 3 月 31 日

新任教授就任挨拶

教授　小林祥人

ご挨拶いたします。今年度より教授会の一員となりました、小林祥人と申します。茨城にある日本基督教団の伝道所に仕えております。日本聖書神学校では、2005年4月から旧約関係の授業を非常勤で担当してきましたので、そこから今日までの卒業生の皆さんとは顔見知りのはずですが、引き続き少しでもよき働きが、ご一緒に務めていくことができたらと願っております。また、現役の神学生の皆さんには、この後しばらくの間研鑽の時と場を共有できますよう、願っています。

この文章を書いているのは3月ですので、いわゆる「ウクライナ情勢」についてのニュースでもちきりですが、このような、何をどう信じるに値するのかということがひどく不明瞭な時にあって、どう語りうるのか、いいえ、より正確には、どう感じ取って伝えうるのか、ということを考えさせられています。もとよりこのようなことは、宣教に携わる者の日常的な営みであることは百も承知なのですが、たとえば私が仕える伝道所にはこども園が付帯し、卒園式が数日後に迫っています。こんな情勢の中で卒園していく子どもたちに何を話したらよいのでしょう。「この十字架の横棒は横に真っすぐです。どっちかが上だったり下だったりしてはいません。それは、わたしたちが世界中どこで生まれてどこで育っても、人はみな同じ人だということです。だから、どこかの国で生まれたか、と、そういうことでもって、自分のことをいばったり、相手のおともだちのことを仲間はずれにしたり、ばかにしてはいけないんです」・・・と、それぐらいしか思い浮かびません。難しい言葉で説明するのは簡単ですが、簡単な言葉で説明するのは難しいです。ですが、子どもたちには、錯綜する情報の正否を伝えるよりも、本当に大切なことは何かを一緒に考えていけるように心がけたいのです。いま、子ども相手の話を例にしていますが、こういう部分は結局大人の教会形成や信仰生活にあっても大差なく、同時にまた神学的思索の場でも、現場でも、大差ないようにも思っています。わたしたちの歩みが絶えず平和を提案される神さまの正義に照らされ、真理の中にあることを望みつつ（詩編85編より）、歩んでまいりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

総務部長就任挨拶

総務部長　松脇達朗

2022年4月、西谷譲前部長の後任として総務部長に就任しました松脇達朗です。よろしくお願いいたします。所属教会は日本キリスト教会蒲田御園教会で、長老として小会書記と東京中会財務委員を務めています。

信仰歴としては、1985年29歳の時に単立東京羽田キリスト教会で故岡野亜久里（おかのあぐり）牧師（本校8回卒）から受洗しました。その翌年、父が急病により60歳で天に召されましたが、その直前に岡野牧師の奨めにより聖書通読を始めようと母と一緒に創世記を読み終わったところだったと知り、出エジプト記、詩編、マタイ福音書から通読を始め約36年間、毎朝の聖書朗読を続けてきました。

職業歴としては1980年に建設省に入省し2015年に国土交通省を退職するまで35年間国家公務員として勤務しました。その間、様々な困難・試みがありましたが、毎朝の聖書朗読により確かな導きを与えられたこと、感謝でした。

そのため、公務員退職後は福音宣教に残りの人生を捧げたいと一度（ひとたび）は決意し、本校正科生受験を志しましたが、諸般の事情により方針転換、7年間本校聴講生として28科目履修し、8年目の今期も説教演習等を履修予定です。

そのような中、昨年、西谷総務部長の後任にというお話を承り、驚きましたが祈りのうちに「これは自分に対する神様の召し」と示され、お引き受けすることを決意いたしました。

中小企業に寄り添った金融を実現するベンチャー企業の役員も現在勤めており、勤務形態としては兼業の形となりますが、誠実に職務に向き合ってまいる所存です。

現在、日本も世界もコロナ禍に加えてそれ以前から進行している経済的格差の拡大、戦争とテロの恐怖、地球環境問題の深刻化に直面しています。このような時、「他者と共なる教会」、宣教者・牧会者の役割は重大であり、その召命を受けた神学生への神学教育の重要性はますます高まっていると認識しています。

この神学教育に76年間の歴史を持つ本校の使命も大きいものがありますので、自分も微力ではありますが最善を尽くすことができますよう祈る者です。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

Diary　学事報告
2021 年 9 月～ 2022 年 3 月

- ９月６日 教授会（第５回）
- ９月６日 後期始業礼拝
- ９月 10 日 学報（167 号）発行
- ９月 10 日 カリキュラム対話集会
- ９月 16 日 卒業論文オリエンテーション
- ９月 17 日 フィールドスタディ中間報告
- ９月 21 日 理事会
- 10 月４日 教授会（第６回）
- 10 月５日 第１回オープンキャンパス
- 10 月 10 日 神学校日
- 10 月 25 後援会役員会
- 10 月 29 ～ 30 日 全校修養会（神学校）、テーマ「テクノロジーと教会共同体―身体性の問題をめぐって」
- 11 月５日 秋期入学試験（合格者：正科生１名）
- 11 月５日 教授会（第７回）
- 11 月 22 日 理事会（第 270 回）
- 11 月 22 日 評議員会（第 219 回）
- 12 月９日 学生自治会ホームルーム
- 12 月 10 日 教授会（第８回）
- 12 月 10 日 クリスマス礼拝（説教「わたしの魂は主をあがめ」熊江秀一牧師（関東教区副議長、大宮教会牧師））
- １月７日 新年始業礼拝
- １月 12 日 学生自治会学術講演会「ベアンテ・ボーマン夫妻による演奏会とメッセージ」
- １月 17 日 理事会（271 回）
- １月 18 ～ 19 日、24 日 後期補講日
- １月 25 ～ 26 日 後期試験日
- １月 27 日 フィールドスタディ報告会
- １月 28 日 教授会（第９回）
- １月 28 日 卒業論文講評会
- １月 31 日 卒業論文発表会
- ２月１、４、８、10日 日本キリスト教史特講（集中講義）
- ２月７日 同窓会役員会、同窓会役員と卒業予定者との懇談会
- ２月７日 献身志願者の集い準備会
- ２月７日後援会役員会
- ２月 14 日 学生自治会総会
- ２月 17 ～ 18 日 春期入学試験（合格者：正科生４名、聴講生９名）
- ２月 18 日 教授会（第 10 回）
- ２月 28 日 理事会（第 272 回）
- ２月 28 日 ２年生と教授会の面談
- ３月１日 旧約科目担当者会
- ３月７日 教授会（第 11 回）
- ３月７日 卒業礼拝（説教「インマヌエルの今を」石川敞一牧師（浪岡伝道所牧師・26 期））、卒業生６名
- ３月 14 日 新入生オリエンテーション
- ３月 14 日 理事会（第 273 回）
- ３月 14 日 評議員会（第 220 回）
- ３月 25 日 同窓会役員会
- ３月 28 日 献身志願者の集い準備会

個 人 消 息

■ 神保 望 校長
- 9 月 5 日 経堂北教会礼拝で説教
- 10 月 8 日 日本神学教育連合会（JATE）出席
- 11 月 21 日 原町田教会献堂式出席
- 11 月 23 日 東京教区北支区按手礼出席
- 11 月 27 日 関東教区按手礼出席
- 12 月 11 日 学生寮・クリスマス出席
- 12 月 26 日 越生教会礼拝で説教
- 1 月 16 日 日立教会島田進牧師記念礼拝で説教・記念会出席
- 1 月 23 日 宿河原教会礼拝で説教
- 2 月 4 日 日本神学教育連合会（JATE）出席
- 2 月 6 日 代々木教会礼拝で説教
- 2 月 25 日 学生寮・卒業生を送る会出席
- 3 月 14 日 NCC 教育部主催エキュメニズム研修会出席
- 3 月 26 日 日本実践神学学会出席
- 寮監としての業務を行い、また校長として理事会、評議員会、教授会、校務会、人事委員会、図書館運用委員会、後援会役員会、献身志願者準備委員会に出席
- その他適宜面接・人事相談・学生面接を担当して教務執行

■荒瀬 牧彦 教授
- 9 月 19 日 軽井沢追分教会礼拝説教・研修会講師
- 10 月 11 日 カンバーランド長老教会(CPC) アジア宣教会議
- 10 月 17 日 CPC 田園教会説教
- 10 月 31 日 経堂緑岡教会説教
- 11 月 13 日 社会福祉法人ナオミの会職員研修講演
- 11 月 21 日 CPC 東小金井教会説教
- 11 月 30 日 日本賛美歌学会総会
- 12 月 14 日 米国カナダ賛美歌学会ウェビナー “World Sings” 横坂康彦氏レクチャーにゲスト出演
- 1 月 11 日 同窓会中国支部「いかにあるべきか神学校での礼拝教育」
- 1 月 22 日 池袋朝祷会説教
- 3 月 9 日 ナオミホーム・ナオミ保育園改築工事起工式司式
- CPC あさひ教会代務者としての執務。その他、CPC 日本中会運営委員・教職委員長・アジア宣教委員・礼拝書委員、日本聖書神学校理事・評議員・同窓会役員・キリスト教研究所所長、日本賛美歌学会運営委員、『礼拝と音楽』編集委員としての諸奉仕
- 日本クリスチャン・アカデミー関東活動センター共同研究「コロナ後の教会の可能性」(2021-22) 座長

■ 稲垣千世 教授
- ひばりが丘教会牧師としての執務執行
- JBTS 図書館長としての執務執行

■ 菅原裕治 教授
- 日本聖公会管区共通聖職試験委員会委員長を継続（2021 年春期試験を監修）
- 日本聖公会東京教区聖職試験委員会委員長就任（２回の執事文書試験、３回の執事説教試験監修）
- 日本聖公会東京教区第 139、第 140 定期教区会書記担当
- 日本聖公会第 67（定期）管区総会書記長担当
- 立教女学院キリスト教週間礼拝説教担当（１回）
- 東京聖三一教会牧師としての執務執行
- 神学校評議員としての執務執行

■ 古谷 正仁 教授
- 9 月 27 日 桜本教会下園昌彦伝道師就任式
- 10 月 11 日 キリスト教教育学会論集編集委員会
- 10 月 12 日 日本基督教団伝道対策委員会
- 10 月 25 ～ 26 日 日本基督教団常議員会
- 11 月 2 日 青山学院横浜英和同窓会聖書研究会
- 11 月 30 日 横浜地区牧師会
- 12 月 3 日 日本基督教団常議員会
- 12 月 8 日 真田祐輔・二階堂姫瑠結婚式
- 1 月 13 日 青山学院横浜英和同窓会聖書研究会
- 1 月 27 日 日本実践神学会打ち合わせ会
- 1 月 22 日 青山学院横浜英和山手 120 番記念館献堂式
- 2 月 7 ～ 8 日 日本基督教団常議員会
- 2 月 17 日 神学校同窓会神奈川支部会
- 3 月 2 日 農村伝道神学校卒業礼拝
- 3 月 12 日 社会福祉法人日本水上学園理事会
- 3 月 24 日 社会福祉法人日本水上学園「永田ホーム」開所式
- 3 月 26 日 学校法人横浜英和学院評議員会、日本実践神学会
- 『本の広場 2022 年 4 月号』に「『キリストという鏡に照らして生きる人生』への招き (松本敏之『ヨハネ福音書を読もう　上』書評) を執筆
- 日本基督教団蒔田教会牧師としての教務遂行
- 神奈川教区総会議長としての教務遂行
- 社会福祉法人日本水上学園理事、学校法人敬愛学園元住吉こばと幼稚園理事、学校法人横浜英和学院評議員としての業務遂行

■ 柳下 明子 教授／教務部長
- 「信徒の友」２月号「わたしの一冊」執筆
- 日本基督教団公式 HP3 月のメッセージ
- 日本福音ルーテル東教区ビジョンセンター紀要『教会と宣教』26 号に「日本基督教団の新型コロナウィルス感染症への取り組みー道家紀一総務幹事に聞く」執筆
- 教務部長、理事、評議員、日本基督教団番町教会主任担任教師としての執務執行